

社 報



トヨタのログセ

特許取得しました

当社開発中のFRP型枠ですが、以前より特許を取得すべく申請しておりましたが、この度、特許の認定に成功いたしました。

基本パネルの600x600を始として、補助パネル・役物パネルなど、21種類の組み合わせにより、30mm単位でコンクリートの成形を行う計画です。

まだまだ未熟な工法ですが、皆さんの意見も得て、成熟させていきたいと思っております。

ぜひとも試験使用をいただき、ご意見をお願いいたします。



朝晩寒く、風邪などひかないように……

トヨタと言えば、日本を代表する企業であり、売上も利益もズバ抜けています。そのトヨタで「ログセ」のように言われる言葉があるようです。ネットに掲載されていたので紹介します。

■「縦にたくさんできる人」

多能工のことで、受け持ち範囲が広い人のことです。トヨタでは、仕事を幅広くできる人が優遇されます。

■「ポカヨケ」

作業ミス防止する仕組み・装置。品質不良や作業者のミスを発見し、警告するシステムや次の工程に進めない工夫。

■「者に聞くな、物に聞け」

「者」とは人のこと、「物」とは現場・現物・商品のこと。

人の報告をうのみにせず、何が起きているかを見て判断する。

■「カイゼンは巧遅より拙速」

「巧遅」とは出来がいいが時間がかかること、「拙速」とは出来は悪いが時間がかからないこと。トヨタでは、良いと思ったら、失敗を恐れずに、早くやるのが求められる。

■「事前の一策、事後の百策」

ものごとは早めに手を打てば、「一策」ですむが、何かコトが起きてからでは、「百策」が必要になってしまう。想定できる準備を入念に行うことが、時間とコストの無駄を防ぐ。

■「要因から真因を探せ」

トラブルの要因はいろいろあるが、大事なものは真因を追究し、そこに手を打つこと。様々な要因に多くの対策は良しとされない。

■「カイゼンはマネから」

カイゼンはまねることから始まる。といわれる。自分たちの工場にいい知恵がなかったら、よその工場に見学に行って「工程のやり方」を見て、そのまま取り入れるもよし、アレンジを加えて使うもよし。

この他にもいろんなログセが紹介されていました。トヨタほどの一流企業ともなると、こうしたログセが社風として社員の一人ひとりに根付き、日々の活動や価値観が形成されていきます。本当に大事にしなければならぬことだと思います。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

計画は「思い」から始まる

仕事を短時間に、効率良く、安全に進めようとするためには、事前の計画が大切なことは言うまでもありません。

では優れた計画とは、どのような手順で生み出されるのでしょうか。

それは仕事を実行する者が、短時間・効率・コスト・安全を実現し・高い利益を得ようとする思いから始まるのでは

ないでしょうか。

強い思いがあるからこそ、真剣な計画が生み出され、強固な実行力を伴い計画が達成されるのです。

「思い」のない計画は、いくらきれいに書かれていても、絵に書いた餅でしかありません。

今月もケガがありませんように。(拝)

2014年 安全成績

■現場災害 H26.1.1-H26.11.7	
休業災害	----- 2
不休災害	----- 0
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 2
■交通災害 H26.1.1-H26.11.7	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 0
合計	----- 0